

(一財)NHK財団

No.	技術シーズ	特許番号	内容
1	要約映像自動生成技術	特許第 6990998号 他	<ul style="list-style-type: none">・映像から重要な区間を自動で選び出して要約映像を生成する技術です。映像要約AIにより、映像のあらすじや台本などの付加的な情報を必要とせず、映像のみからの自動生成が可能です。・本技術で使用する映像要約AIは、実際に映像制作のプロが編集した番組要約映像を学習データとしています。本技術により、プロが選んだ重要シーンならではの構図やカメラの動きを考慮した要約映像の生成が可能です。
2	白黒映像のカラー化技術	特許第 6902425号 他	<ul style="list-style-type: none">・白黒フィルムなどの白黒映像コンテンツを、AIを用いてカラー化する技術です。フレームごとの色ぶれの発生を抑えることや、簡単な操作で色を部分的に変更することができます。・本技術では、色推定AIに加えて、新たに開発した色伝播AIと色修正AIを用いることで、同じシーンにおける色ぶれの発生を抑えることができるとともに、自動でカラー化したフレームの色を部分的に変更することができます。
3	3次元コンテンツのリアルタイムストリーミング技術	特許第 6789761号 他	<ul style="list-style-type: none">・3次元コンテンツをタブレットにリアルタイムにストリーミング伝送し、画面上に、AR (Augmented Reality) で現実空間に合成して表示します。3次元コンテンツを自由な視点から楽しむことができます。・3次元コンテンツはテレビやディスプレイの映像・音声と連動させることもできます。また、配信するデータは同じでも、体験者がそれぞれ自由な視点から3次元コンテンツを視聴できます。
4	話速変換技術	特許第 5412204号 他	<ul style="list-style-type: none">・音声の発話速度(話速)を自由に調節できる技術です。一様に時間伸縮するだけでなく、時間遅れを蓄積することなく、ゆっくりとした聞こえを実現する機能を備えています。この技術を高速再生に適用することで、2倍速を超える音声も聞き取りやすくなります。・特長としては、①話速を変えても声質が変わりません。②高速再生も聞き取りやすくすることができます。③外国語にも利用できます。
5	定型文手話CG生成技術	特許第 6378964号 他	<ul style="list-style-type: none">・気象情報や交通情報などの定型データをもとに、手話表現のひな形(定型文テンプレート)とモーションデータを組み合わせ、手話CGアニメーションを自動生成する技術です。・特長としては、①自動で字幕付きの手話CGアニメーションを生成することができます。②テンプレートとモーションデータを追加して発話内容を増やすことができます。③キャラクタ・背景セット・画像などを自由に変更することができます。
6	解説音声制作・配信技術	非公開	<ul style="list-style-type: none">・視覚障害者を含む多くの方々に番組の内容を等しく伝えるため、放送映像と連動した解説音声を作成・配信する技術です。解説放送サービス(*)が困難なスポーツの生中継番組を対象とし、スマートフォンなどの携帯端末へ解説音声をリアルタイム配信します。*視覚障害者のテレビ視聴を支援するため、放送映像の内容を音声で補完するサービス。・放送局側で映像解析により、得点状況やボールカウント、選手の動きに関する情報を自動取得し、音声データに変換して利用者のスマートフォンへ配信します。またスマートフォンでリクエスト発話ボタンを押すことで、得点などの試合概況をいつでも確認できます。